

令和4年度 研究の概要について

研究主題

すべての児童が自分の思いを豊かに表現できる授業づくり
～国語科の指導を通して～

国語科（説明文）の授業実践と
国語科の学びを生活科・総合的な学習の時間に活かす授業実践



国語科を核に特色ある教育課程を編成したカリキュラム・マネジメントの創造



令和4年11月25日(金)
志木市立宗岡第四小学校

1 研究の概要	・・・1
(1)研究主題・副題	
(2)研究主題等の設定の理由	
(3)主な研究の経過	
(4)研究の仮説と手立て	
2 研究組織	・・・2
3 取 組	・・・3
手立て1 国語コーナーの活用	
手立て2(1)国語科の学びを生活科・総合的な学習の時間に活かす	
(2)①国語科を核としたカリキュラムマネジメント	
②総合的な学習の時間の学びの地図	
手立て3 その他の手立て	
4 成果と課題	・・・6
(1)成果	
(2)課題	
(3)成果の具体例	
成果1 国語科の学習が他教科に活きる	
成果2 学力テスト等の結果から	
5 参考資料	・・・8
(1)国語コーナー(全学年)	
(2)「学びの地図」国語科を核にしたカリキュラムマネジメント(全学年)	
(3)研究に関わる「学校だより」	

1 研究の概要

(1) 研究主題・副題「すべての児童が自分の思いを豊かに表現できる授業づくり」～国語科の指導を通して～

(2) 研究主題等の設定の理由

学習全体の児童の実態として、学習態度が受け身で、自分の気持ちや考えを相手に分かりやすく伝える力に課題がある。また、書く力に課題もあると捉えた。「国語科における児童の実態」では、自分の思いを話す力、書く力、比較したり関係付けたりして考える力、文の構成についての理解などに課題がある。また、語彙力や読書習慣に課題もあると捉えた。このような児童の実態から、言葉で適切に表現することの資質・能力に課題があると捉え、課題を解決するため、研究主題を「すべての児童が自分の思いを豊かに表現できる授業づくり」と設定し、副題を「国語科の指導を通して」とした。

(3) 主な研究の経過

課題解決のためには、新学習指導要領にも熟知しており、研究推進の方向性を適切に指導・助言して下さる講師が必要となる。そこで、共栄大学教授の光野公司郎先生を招聘しコロナ禍のあった中ではあったが3年間研究を推進してきた。

光野先生からのご指導を受けながら、研究仮説を1「国語科の授業の中で、必要な指導や支援を行うことで、すべての児童が自分の考えや思いを表現する力を高めることができるのではないか。(国語科の説明的な文章を中心に)」、研究仮説2「学習の基盤としての各教科における言語活動を充実させることで、自分の思いを豊かに表現できる児童の育成を図ることができるのではないか。」とし研究を推進してきた。

手立てとしては、大きく3つに分け取り組んできた。

1 つめは年間を通して教室にある「国語コーナー」を活用することである。「国語コーナー」には基本文「ぼくのお父さん」を常に掲示し、今学習している説明文の構成は「ぼくのお父さん」とどこが違うのかを学びのポイントにする。説明文教材で理解した新しい構成の工夫>を使って「ぼくのお父さん」を書き換えることで「豊かな表現」へとつなげていった。

2 つめは国語科を核としたカリキュラムマネジメントを確立することである。そのために国語科を核とした「学びの地図」を全学年が作成した。それらを特に生活、総合的な学習の時間に活用し、「豊かな表現」へとつなげていった。

3 つめは、音読への積極的な取り組みやハンドサインの活用、廊下の学年掲示板に児童の作品を掲示するなど、学校教育全体からのアプローチである。

この間、令和2年度は、2年生の研究授業を1本、1年生及び3年での低中学年ブロックでの公開授業に取り組んだ。令和3年度は、低中高学年各1本ずつの合計3本の研究授業、3本の公開授業にも取り組むことができた。さらに、今年度は、1学期に6年生の研究授業、2年、3年、4年の公開授業として授業実践と協議を繰り返し行ってきた。この間、光野先生からは対面での講義や研究協議、指導案検討など何度も来校いただき研究を深めてきた。また、時にはリモートでの協議も実施した。さらに、メールでの指導案検討など多彩な取り組みを行ってきた。この3年間の取り組みは、成果として、児童が自分の思いを豊かに表現できる力を育むことにつながっていると実感している。

(4) 研究の仮説と手立て

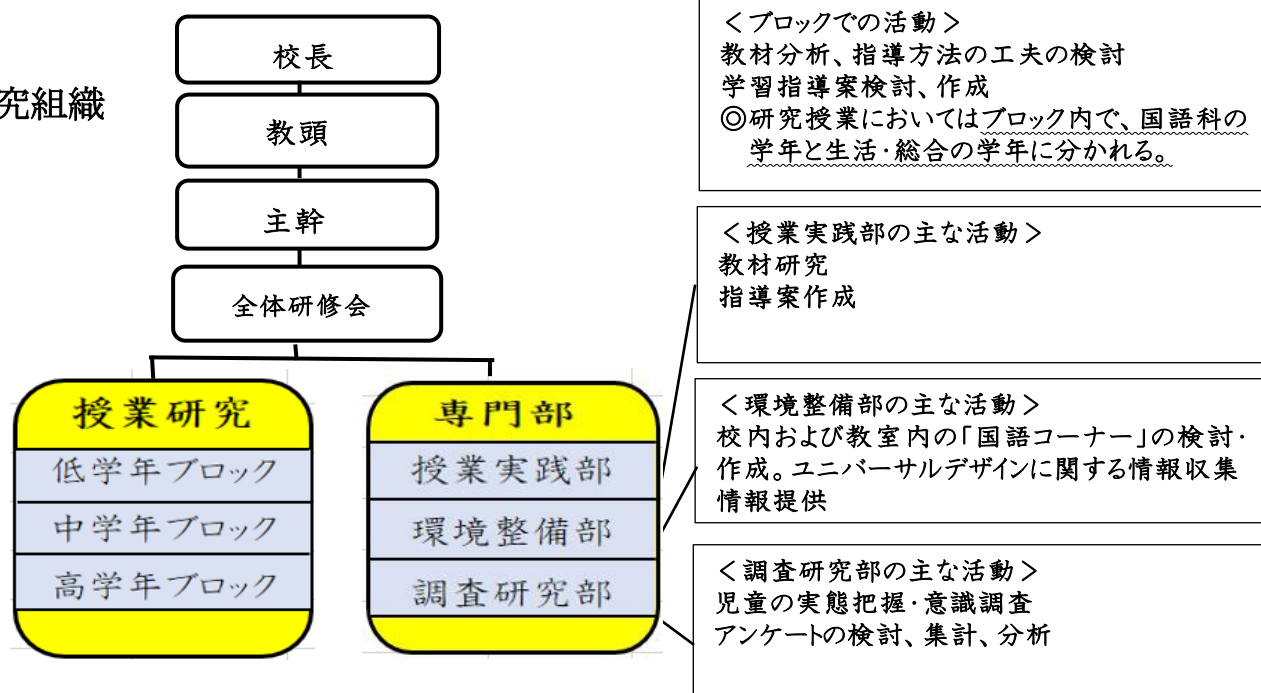
学校教育目標 考える子ども 思いやりのある子ども はたらく子ども じょうぶな子ども

研究主題 「すべての児童が自分の思いを豊かに表現できる授業づくり」
～国語科の指導を通して～

研究仮説 1	国語科の授業の中で、必要な指導や支援を行うことで、すべての児童が自分の考えや思いを表現する力を高めることができるのではないか。
研究仮説 2	学習の基盤としての各教科における言語活動を充実させることで、自分の思いを豊かに表現できる児童の育成を図ることができるのではないか。

手立て 1 ○説明文の読みを通して	手立て 2 ○他教科の学習の中で	その他の手立て
・年間通して<u>国語コーナー</u>を活用する。(基本文「ぼくのお父さん」の掲示) ・今学習している教材が前の教材、次の教材にどうつながっているのか「見える化」していく。 ・「国語の授業は三段階ある」2段階・3段階を充実させる。	・<u>国語科を核としたカリキュラムマネジメント「学びの地図」の作成</u> ・国語の学びを生活科と総合を中心に活かしていく。 ・「国語コーナー」を常に意識して他教科で活用する。	・個別の対応(自力解決の時) ・視覚化(板書・教室掲示) ・音読を積極的に取り入れる ・学年掲示板に児童の作品掲示 ・ユニバーサルデザイン ・ハンドサイン 【話合いの活動の工夫】 ・ペアでの対話 ・グループによる話合い ・全員挙手、相互指名 ・座席の配置の工夫 など

2 研究組織



3 取組

手立て 1 国語コーナーの活用

↓基本文〈ぼくのお父さん〉

おわり	中②	中①	はじめ	基本文
※「つたえたいこと」について思ったことや考えたこと。 (自分は「どうしたいか」なども書いてよい) お父さんは毎日毎日よくはたります。 ぼくもお父さんのようになりたいです。	※おわりで書いたことのしょうこやれい、理由。 (どうしてそう思ったか考えたのか) 今日は荷物のつみこみがあるので、 朝早く出かけました。	きのうは遠くまで出かけたので、 帰ってきたのは夜おそくてした。	※これから何についてつたえるか書く。 ぼくのお父さんは トラックのうんでん手です。	きほん文 ぼくのお父さん

「国語コーナー」に全クラス共通の基本文「ぼくのお父さん」を掲示した。説明的な教材文を読む時に「ぼくのお父さん」と「どこが違うのか」を考えさせることで「豊かに表現する」ための新たな言語技術を身につけさせた。

例えば、3年説明的文章「こまを楽しむ」は、「初め」「中」「終わり」の文章構成になっており、「終わり」に書かれている「さまざまなしゅるいのこまがある」ということを「確かにそうだ」と説得力をもたせるために、「中」で6つのこまを挙げていることに気づかせる。「ぼくのお父さん」では「中」が2つだったが、「こまを楽しむ」で「中」が6つになった方がより「終わり」が強くなるということを学び、その技術を他教科(特に生活科や総合)で活用していく。

また、「中」に示されたこまの例の出し方の「順序」も筆者の意図がある(既知から未知へ)ことにも気づかせていく。そのために「国語コーナー」の「順序」の掲示を活用していく。

手立て 2 (1) 国語の学びを生活・総合に活かす

実践例① 3年総合「とびだせ 志木市探検隊」

親水公園の単元

(1)目標(10/16)

○遊具のアピールポイント(具体)を概念(抽象)によってまとめることができる。

＜思考力、判断力、表現力等＞

(本授業は上記の国語の授業【「中」をたくさん述べて、「終わり」を強める】を活用している。)

児童が考えた遊具のアピールポイント一つ一つが「具体」であり、いくつかの「具体」を共通項でまとめたものが「抽象」である。たくさんの具体的なことを抽象化(包括的な概念を作る)することで、その遊具のよさが相手にわかりやすくはっきりと伝わると考える。「はじめ」で話題(遊具)を絵を使って述べ、「中」でたくさんのアピールポイントを出して、それを概念でまとめ、「終わり」で「いい遊具です。ぜひ作ってください。」という文章構成でまとめて説得力のある文章にしている。

実践例② 生活 2年「うごくうごくわたしのおもちゃ」 目標:遊び方を書いた文章をより分かりやすい文章にしよう。

国語の学び 説明文で学習した分かりやすい文章を書くために大切なこと(順序、つながり言葉、数字、絵や写真)を活用する。

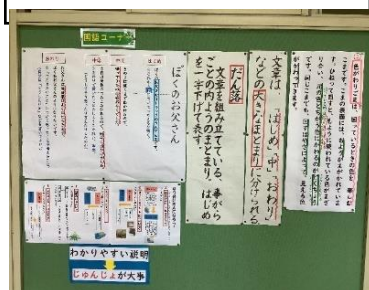
実践例③ 総合 5年「社会はよりよい方向に向かっているか考えよう」

目標:自然保護と社会発展のバランスについて考える中で、今の社会の現状を多面的にとらえることができる。

国語の学び 言葉の意味が分かることの(構造的な特徴)を活用する。

↓〈国語コーナー 3年〉

※詳細は9ページ参照

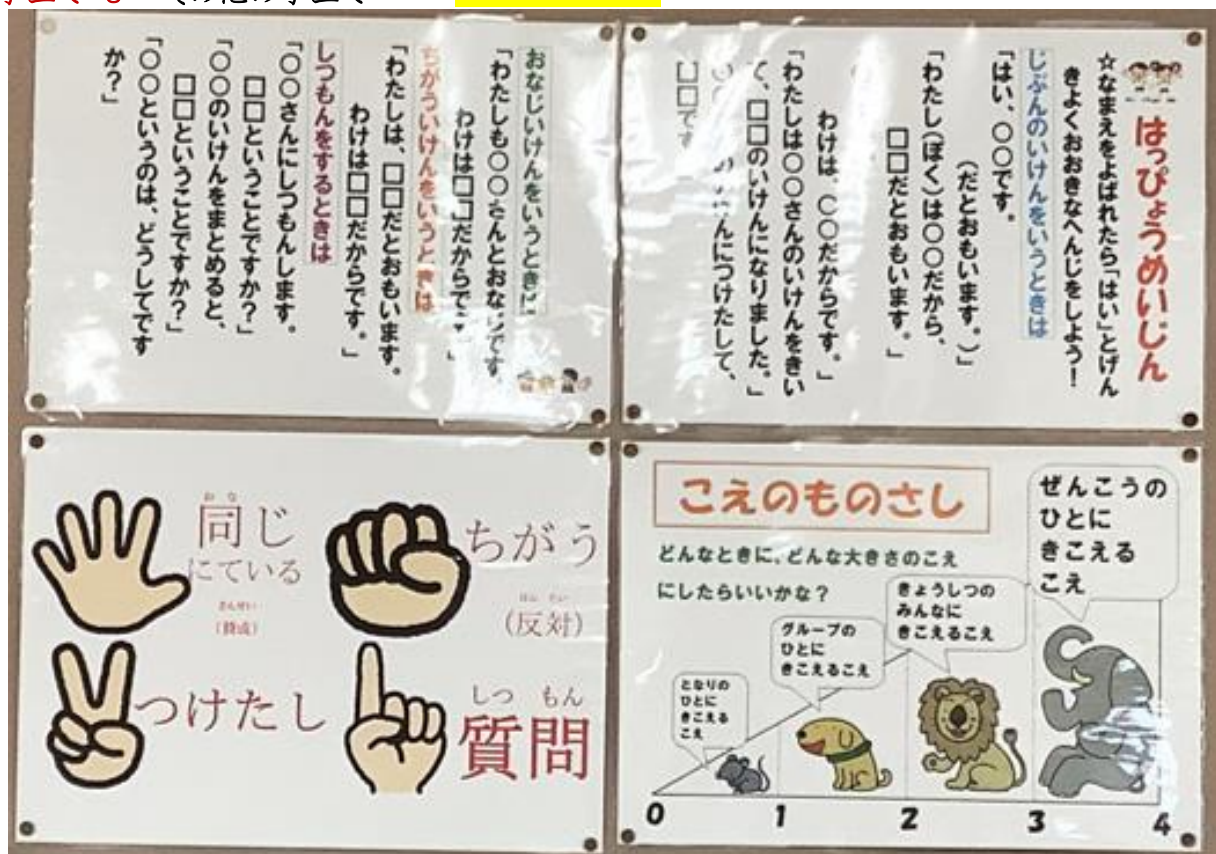


↑※p 6、7 具体例参照

※p13-18 参考資料参照

令和3年度 宗四小「学びの地図」3年

- 4 -



4 成果と課題

(1) 成果

- 国語科の説明的な文章を中心にした学習の系統的な理論研究と授業実践や授業改善を行い教師の授業力が向上した。
- 国語科の学習を生活・総合的な学習の時間を中心とした他教科につなげて活用することができ、「学びの地図」つくることができた。
- 国語科の説明的な文章で学んだ技術が「ひきだし」になり、総合的な学習でその「ひきだし」の中から適切なものを選んで活用することで「児童が自分の思いを豊かに表現できる授業づくり」にせまることができた。
- 「国語コーナー」を活用することで読みの理解が深まり、「豊かな表現」につながった。
- 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果(6年)は平均、中央値、標準偏差ともに全国・県を上回っていた。また、問題別調査では、すべての項目で全国・県を上回っていた。

(2) 課題

- ・「国語コーナー」をさらに充実させる。
- ・生活・総合の授業の時に国語の要素が多くなってしまう、生活・総合的な学習の時間のねらいからそれてしまっていないか、常に確認して授業実践をする必要がある。
- ・県学力状況調査において6年生の伸びに比べて、4,5年生の伸び悩みがみられた。本研究を学校全体でさらに推進することが大切である。
- ・物語教材の読み取りに課題がみられた。

(3) 成果の具体例

成果① 国語の学習が他教科に活きる

実践例 3年 国語 説明文「すがたをかえる大豆」

文章構成 「はじめ」(話題提示)

「中」(「終わり」の証拠をたくさん出す)

「終わり」(大豆はいろいろなすがたで食べられています)

☞「終わり」の「大豆はいろいろなすがたで食べられている」を強めるために「中」で5つのくふうと10種類もの食品を例示した。

この学習を活用して

3年総合的な学習の時間「とびだせ 志木市探検隊」

親水公園をもっと魅力的な公園にするための遊具を考えて、市役所にアイデアを提出しよう。

「はじめ」で話題提示(遊具)を絵を使って述べる

「中」でたくさんのアピールポイント(具体)を出す。

- ・鳥のターザンをつかんで乗る時に落ちこちても安全のようにネットをおいた。
- ・体を支えるものがある。
- ・鳥のターザンに乗ると空をとんでいるみたいで楽しい 等

それを概念(抽象)「安全で空をとんでいるようにできる鳥のターザン」でまとめ、「終わり」で「いい遊具です。ぜひ作ってください。」という文章構成でまとめる

「なるほど、確かにみんなが楽しいアスレチックタワーだ」と説得力がある主張ができる。

自分の思いを豊かに表現

みんなが楽しい アスレチックタワー

「はじめ」

どんな遊具にしたいか
絵を使って述べる。



「中」

短冊（白）にたくさん
のアピールポイントを出して、
概念でまとめる（オレンジの短冊）

安全で空をとんでるように出来る
鳥のターザン

体をイイこえる物がある。
鳥のターザンをつかんでのりと
きにおつちでも安全なようにネットを
おいだ。
鳥のターザンにのりと空をとんでみた
いでのし。

カラフルで
みんなが楽しめる

カラフルな色で子どもたちの
しめる。

ボルダリングができてくてもドアの中にか
いたんがあるからボルダリングをしな
くてもかいたんがあるところだからめ
る。

いさいいでもたのしめる
すべり台

おもしろいおにぎりがっている。

みんなにたのしんでもういえる
クレーゲすべりだいがある。

すべり台にもようがあってかわい
らちいさい子どもでもたのしんで
ちいさいすべりだいもある。
ちいさいすべりだいでも楽しめるように

おはなのすべり台が長くておもしろ
ちいさい子どもでもたのしめる。

成果② 全国学力状況調査・埼玉県学力状況調査の結果から

全国・県 6年生国語の結果から まとめ		
	全国学力状況調査から	埼玉県学力状況調査から
成果	- 平均、中央値、標準偏差ともに全国・県を上回っている (平均正答率全国比+9.4pt、県比+8pt) - 言葉の特徴や使い方に関する事項 - 我が国の言語文化に関する事項 - 知識技能、短答式	- レベルは県に比べ1段階高い。 平均正答率県比+3.4pt 「言葉の特徴や使い方」の伸びが大きい 「読むこと」の伸びが大きい - 知識・技能県比+2.4pt、思・判・表 県比+4.8pt - どちらも昨年度より県を上回り、その度合いも伸びている (知+1.7、思+3.2)

年
2

◇ことわざのじゆんじよを 考えよう。

① だいじなことのじゆんじよ

『ともだちを だがそう』

だいじなことから言う

- ・やまだゆか (名前)
- ・六さい (年れい)
- ・女の子 (せいべつ)
- ・青と白のたての
- しまもようのシャツ (きているぶく)
- ・リュックをせおっている (もちもの)

② 時間のじゆんじよ

『たんぼほのちえ』

春になると、たんぼほの黄色いきれいな花がさきます。

二、三日たつと、その花はしぼんで、だんだん黒っぽい色にかわっていきます。

③ 大きなこと → 小なこと

見えること → 見えないこと

『かんざつ名人になろう』

大きなこと

ミニアートに黄色い花がさきました。

見えること

小なこと

花びらは、どれもそりかえっています。

見えないこと

花びらをそっとちわつてみたら、ちんちんしてました。

2年

せつめいめんのやくそく

これまでにやくしあつしてきたせつめいめんのなかで、
かかれていなくて、あひだのくちあひだりなところ。

① **みえること → みえぬこと**

『くちはし』

みえること

しが
くちまふた
くちがく
はしは、たくさ
はして、なん
うの

みえぬこと

をか
つ
み
ま
し
た
て
ま
す
の
の
か
ら
の

② **しつこいこと → しづかいこと**

『うみのかくれんぼ』

しつこいこと

はまぐり
たけ

しづかいこと

むくずしやい

③ **あつた → むくつ**

『しんとう車くらべ』

あつた

しんとう車・バス
トラジク

むくつ

クレーン車

1・2年
わかりやすく説明するためには「順序」が大事

※本校では「中」の具体的な事柄の配列を「順序」と定義している。3年から6年まで説明文の構成の「中」の部分のみを1・2年では学習している。

基本文 「ぼくのお父さん」

3年 国語コーナー

国語コーナー

ぼくのお父さん

中(なかに)の

おわり

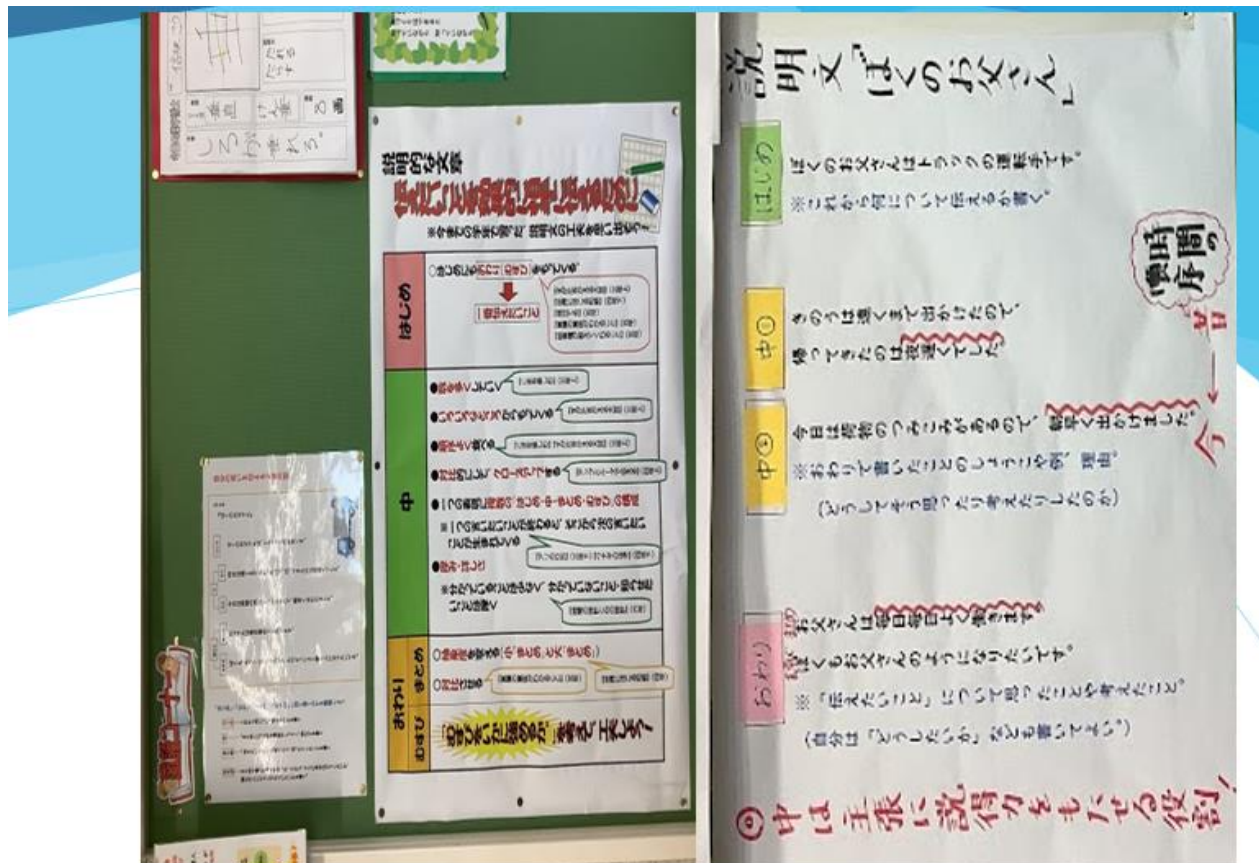
「おわり」を強くたえるために

「中」のれいをたくさん出す

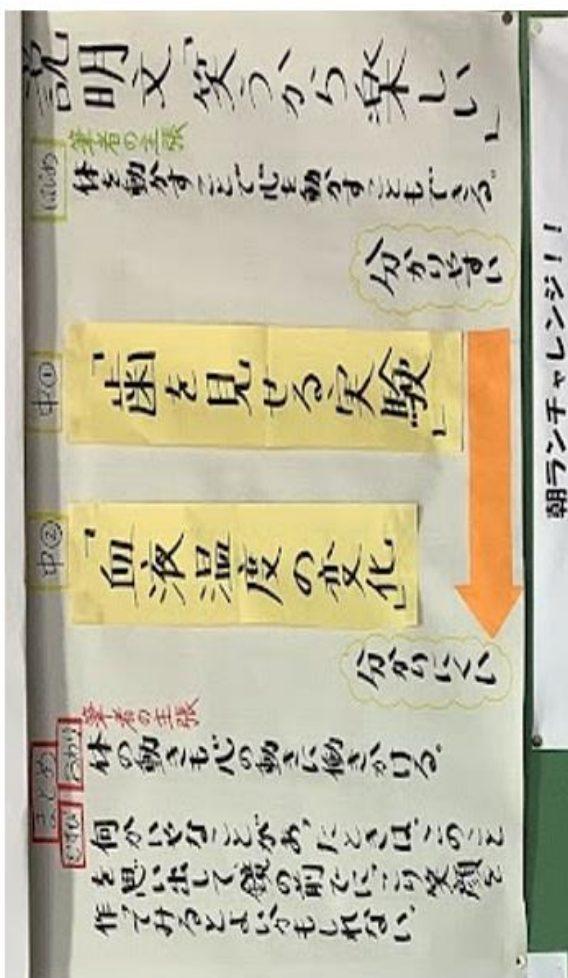
3年国語「こまを楽しむ」では「中」が2つだったが、「こまを楽しむ」では「中」が6つになっていて「終わり」がより強く伝わってくる。「ぼくのお父さん」とどこが違うかが学びのポイント。



-10-



国語コーナー 6年



6年国語 「笑うから楽しい」

★「ぼくのお父さん」では、時間の順序で説明文が成り立っていたが、6年説明的文章「笑うから楽しい」は、「分かりますこと・みんなが知っていること」から「分かりにくい・みんなが知らないこと」の順序で説明することで、筆者の考えに説得力をもたせる文章であることに気付かせる。

(2)「学びの地図」国語科を核にしたカリキュラムマネジメント（1年）

令和4年度 宗四小「学びの地図」1年

考える子ども（知）	思いやりのある子ども（情）	はたらく子ども（意）	じょうぶな子ども（体）									
自ら進んで学ぶ子（知）	礼儀正しく、心豊かな子（情）	仕事を一生懸命にする子（意）	心身ともにたくましい子（体）									
学習や生活の場面でつかえる知識やわざなどを進んで学ぶことができる子												
自分の考えを豊かに表したり、学んだことを使ったりしながら、よりよく問題をとくことができる子												
疑問に思ったことを自分から進んで調べようとして、友達の助けをかりたりしながら一緒に学ぼうとする子												
教科等	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語	いいてんき おはなしのいいな あつまって はなそう どうぞ ようきかな なぞで いもうかな こんなもの みつけたよ うたにあわせてあいうえお	これにだてよう おはなし、ともだち のほしな、ことば のほしな、ことば あそび、あそび はなの、みち、 だんを つくろう	くらげ し おきく なつた おきく なつた おきく なつた おきく なつた おきく なつた おきく なつた	おきく なつた おきく なつた おきく なつた おきく なつた おきく なつた おきく なつた おきく なつた	ききたいな おきく なつた おきく なつた おきく なつた おきく なつた おきく なつた おきく なつた	おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい	おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい	おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい	おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい	おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい	おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい	おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい おもしろい
学習の基礎としての の資質・能力 【ア 言語能力】 との関連	国語の工夫 見えてくる一見えない 外見 機能 機能 機能 機能 機能 機能	国語の工夫 見えてくる一見えない 外見 機能 機能 機能 機能 機能 機能	国語の工夫 見えてくる一見えない 外見 機能 機能 機能 機能 機能 機能	国語の工夫 見えてくる一見えない 外見 機能 機能 機能 機能 機能 機能	国語の工夫 見えてくる一見えない 外見 機能 機能 機能 機能 機能 機能	国語の工夫 見えてくる一見えない 外見 機能 機能 機能 機能 機能 機能	国語の工夫 見えてくる一見えない 外見 機能 機能 機能 機能 機能 機能	国語の工夫 見えてくる一見えない 外見 機能 機能 機能 機能 機能 機能	国語の工夫 見えてくる一見えない 外見 機能 機能 機能 機能 機能 機能	国語の工夫 見えてくる一見えない 外見 機能 機能 機能 機能 機能 機能	国語の工夫 見えてくる一見えない 外見 機能 機能 機能 機能 機能 機能	国語の工夫 見えてくる一見えない 外見 機能 機能 機能 機能 機能 機能
算数	なかまづくりとかず なんばんめ なんばんめ なんばんめ なんばんめ なんばんめ なんばんめ	どのようにかねるか な かずをさがそう あわせていくつ ふ えとていくつ	のこりはいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ	のこりはいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ	のこりはいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ	のこりはいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ	のこりはいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ	のこりはいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ	のこりはいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ	のこりはいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ	のこりはいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ	のこりはいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ がはいいくつ
言語能力との関連	生活	生活	生活	生活	生活	生活	生活	生活	生活	生活	生活	
生活	がっこうのことがしりたいな みんなとなかよくなりたいな がっこうだいすき	なつがやってきた きれいにさいてね	なつがやってきた きれいにさいてね	なつがやってきた きれいにさいてね	なつがやってきた きれいにさいてね	なつがやってきた きれいにさいてね	なつがやってきた きれいにさいてね	なつがやってきた きれいにさいてね	なつがやってきた きれいにさいてね	なつがやってきた きれいにさいてね	なつがやってきた きれいにさいてね	
言語能力との関連	音楽 図画工作 体育	音楽 図画工作 体育	音楽 図画工作 体育	音楽 図画工作 体育	音楽 図画工作 体育	音楽 図画工作 体育	音楽 図画工作 体育	音楽 図画工作 体育	音楽 図画工作 体育	音楽 図画工作 体育	音楽 図画工作 体育	
特別の教科 道徳 との関連	特別の教科 道徳 との関連	特別の教科 道徳 との関連	特別の教科 道徳 との関連	特別の教科 道徳 との関連	特別の教科 道徳 との関連	特別の教科 道徳 との関連	特別の教科 道徳 との関連	特別の教科 道徳 との関連	特別の教科 道徳 との関連	特別の教科 道徳 との関連	特別の教科 道徳 との関連	

国語科を核にしたカリキュラムマネジメント（2年）

令和4年度 宗四小「学びの地図」2年

考える子ども（知）		思いやりのある子ども（情）		はたらき子ども（意）		じゃぶな子ども（体）													
自ら進んで学ぶ子（知）		礼儀正しく、心豊かな子（情）		仕事を一生懸命にする子（意）		心身ともにたくましい子（体）													
学習や生活の場面でつかえる知識やわざなどを進んで学ぶことができる子																			
自分の考えを量かに表したり、学んだことを使ったりしながら、よりよく問題をとくことができる子																			
疑問に思ったことを自分から進んで調べようとして、友達のをかりたりしながら一緒に学ぼうとする子																			
教科等	月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
国語	学習の基礎としての 読解・能力 【7 言語能力】 との関連	おはなしを 読み、よく わかれよう 「ふきと う」	きよ うの で き こ と	かんさ つる人 になら う	お話を聴く でしようか いししょう 「スイマー」	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う
		おはなしを 読み、よく わかれよう 「ふきと う」	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う
算数	算数能力との関連	おはなしを 読み、よく わかれよう 「ふきと う」	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う
		おはなしを 読み、よく わかれよう 「ふきと う」	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う
生活	生活能力との関連	おはなしを 読み、よく わかれよう 「ふきと う」	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う
		おはなしを 読み、よく わかれよう 「ふきと う」	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う
音楽 図画工作 体育	音楽能力との関連	おはなしを 読み、よく わかれよう 「ふきと う」	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う
		おはなしを 読み、よく わかれよう 「ふきと う」	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う
特別の教科 道徳 との関連	特別の教科 道徳との関連	おはなしを 読み、よく わかれよう 「ふきと う」	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う
		おはなしを 読み、よく わかれよう 「ふきと う」	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う	かんさ つる人 になら う

国語科を核にしたカリキュラムマネジメント（3年）

令和4年度 宗四小「学びの地図」3年

学校教育目標	考える子ども（知）	思いやりのある子ども（情）	はたらき子ども（意）	じょうぶな子ども（体）							
目指す児童像	自ら進んで学ぶ子（知）	礼儀正しく、心豊かな子（情）	仕事を一生懸命にする子（意）	心身ともにたくましい子（体）							
知識及び技能	学習や生活の場面で使える基礎的・基本的な知識・技能を身に付けていくことができる子										
思考力判断力表現力等	自分の考えを豊かに表現したり、学んだことを使ったりして、よりよく問題を解決することや、新しい問題に取り組みたりすることができる子										
学びに向かう力等	疑問を感じて自ら意欲的に学んだり、友だちの助けをかりることや、協働したりしなから粘り強く学ぼうとする子										
総合的な学習の時間	公園などの身近な公共施設や通学路の安全について調べたり、それらに関わる人に取り組みたりする活動を通して、公園の特色や地域の安全な場所・危険な場所について活用方法やより安全な通学路の仕方について考えるとともに、学んだことを他学年や児童の安全を見守る方々に伝え、自らの生活に生かそうとしたり、地域社会に還元しようとする態度を育てる。										
教科等	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）
学習の基盤として 【ア 言語能力】 との関連	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）	読んだことごとをえがく （おつかいの書）
社会	わたしたちのまち （1）学校のまわりの様子	わたしたちのまち （2）近所の様子	わたしたちのまち （3）近所の様子	わたしたちのまち （4）近所の様子	わたしたちのまち （5）近所の様子	わたしたちのまち （6）近所の様子	わたしたちのまち （7）近所の様子	わたしたちのまち （8）近所の様子	わたしたちのまち （9）近所の様子	わたしたちのまち （10）近所の様子	わたしたちのまち （11）近所の様子
総合的な 学習の 時間	とびだせ！志水市探検隊！ ①志水市にある公園のよさについて考えよう ○公園はどのようになんか使っているの？ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ	とびだせ！志水市探検隊！ ②志水市にある公園のよさについて考えよう ○公園はどのようになんか使っているの？ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ	とびだせ！志水市探検隊！ ③志水市にある公園のよさについて考えよう ○公園はどのようになんか使っているの？ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ	とびだせ！志水市探検隊！ ④志水市にある公園のよさについて考えよう ○公園はどのようになんか使っているの？ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ	とびだせ！志水市探検隊！ ⑤志水市にある公園のよさについて考えよう ○公園はどのようになんか使っているの？ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ	とびだせ！志水市探検隊！ ⑥志水市にある公園のよさについて考えよう ○公園はどのようになんか使っているの？ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ	とびだせ！志水市探検隊！ ⑦志水市にある公園のよさについて考えよう ○公園はどのようになんか使っているの？ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ	とびだせ！志水市探検隊！ ⑧志水市にある公園のよさについて考えよう ○公園はどのようになんか使っているの？ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ	とびだせ！志水市探検隊！ ⑨志水市にある公園のよさについて考えよう ○公園はどのようになんか使っているの？ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ	とびだせ！志水市探検隊！ ⑩志水市にある公園のよさについて考えよう ○公園はどのようになんか使っているの？ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ	とびだせ！志水市探検隊！ ⑪志水市にある公園のよさについて考えよう ○公園はどのようになんか使っているの？ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ ・市街地の公園のよさ
理科	身のまわりの現象 （1）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （2）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （3）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （4）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （5）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （6）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （7）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （8）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （9）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （10）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （11）身のまわりの現象
言語能力との関連	身のまわりの現象 （1）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （2）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （3）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （4）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （5）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （6）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （7）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （8）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （9）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （10）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （11）身のまわりの現象
特別の教科 道徳 との関連	身のまわりの現象 （1）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （2）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （3）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （4）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （5）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （6）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （7）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （8）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （9）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （10）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （11）身のまわりの現象
音楽 図画工作 体育	身のまわりの現象 （1）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （2）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （3）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （4）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （5）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （6）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （7）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （8）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （9）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （10）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （11）身のまわりの現象
外国語活動	身のまわりの現象 （1）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （2）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （3）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （4）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （5）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （6）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （7）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （8）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （9）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （10）身のまわりの現象	身のまわりの現象 （11）身のまわりの現象

令和4年度 宗四小「学びの地図」 4年

-16-

国語科を核にしたカリキュラムマネジメント（5年）

令和4年度 宗四小「学びの地図」5年

学校教育目標	考える子ども（知）	思いやりのある子ども（情）	はたらく子ども（意）	じょうぶな子ども（体）								
目指す児童像	自ら進んで学ぶ子（知）	礼儀正しく、心豊かな子（情）	仕事を一生懸命にする子（意）	心身ともにたくましい子（体）								
知識及び技能	学習や生活の場面で活用できる基礎的・基本的な知識・技能を確立することや、新しい課題に取り組みながら学ぶことができる子											
思考力・判断力・表現力等	自分の考えを量かに表現したり、学んだことを応用し、よりよく課題を解決することや、新しい課題に取り組むことができる子											
学びに向かう力、人間性等	疑問を感じて自ら意欲的に学んだり、他者の助けを得ることや、協働したりしながら取り組むことができる子											
総合的な学習の時間のねらい	①身近な地域で現れる自然環境について調べたり、環境を守る取組をしている方々に取材したりする活動を通して、現在ある自然や環境を守っていく意識に気づき、環境を守るための取組について考えるとともに、学んだことを家族や地域の方々に伝えたり、自らの生活に生かそうとする。											
教科等	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語	登場人物のうしろの顔や心を読みとらえ、物語を伝え合おう 「なまえをつけてよ」	書いて、きいて、まわして、みてみよう 「書いてる」「書いてる」の意味が分かること	文章の書きかたを、自分の考えを表現しよう 「書いてる」「書いてる」の意味が分かること	みんなが通二しやうへへ 「カレライ」	物語の登場人物と、自分の生活のつながりについて考えよう 「たすけい」	新編を、読んで、話そう 「なまえをつけてよ」	よりよい学校生活のために 「たすけい」	伝記を用いた文章の読みを、自分の生活のつながりについて考えよう 「やなせいか」のストーリーを、自分の生活のつながりについて考えよう	あなたは、どう考える 「やなせいか」のストーリーを、自分の生活のつながりについて考えよう	事件と想像、意見と関係のつながり方 「やなせいか」のストーリーを、自分の生活のつながりについて考えよう	読書しよう、書きたい本を、読んでみよう 「やなせいか」のストーリーを、自分の生活のつながりについて考えよう	すぐれた表現に目をつけて、物語のつながりや、登場人物の心を読みとらえよう 「やなせいか」のストーリーを、自分の生活のつながりについて考えよう
学習の基盤としての「国語力」【ア 言語能力】との関連	＜構成の工夫＞ ①おわりの「まとめ」 ②意見や主張を表現できるようにする ③2つのまとめから大きなまとめを導き出す ＜表現の工夫＞ ①「おわりの」の工夫 ②「おわりの」の工夫 ③「おわりの」の工夫	＜構成の工夫＞ ①おわりの「まとめ」 ②意見や主張を表現できるようにする ③2つのまとめから大きなまとめを導き出す ＜表現の工夫＞ ①「おわりの」の工夫 ②「おわりの」の工夫 ③「おわりの」の工夫	＜構成の工夫＞ ①おわりの「まとめ」 ②意見や主張を表現できるようにする ③2つのまとめから大きなまとめを導き出す ＜表現の工夫＞ ①「おわりの」の工夫 ②「おわりの」の工夫 ③「おわりの」の工夫	＜構成の工夫＞ ①おわりの「まとめ」 ②意見や主張を表現できるようにする ③2つのまとめから大きなまとめを導き出す ＜表現の工夫＞ ①「おわりの」の工夫 ②「おわりの」の工夫 ③「おわりの」の工夫	＜構成の工夫＞ ①おわりの「まとめ」 ②意見や主張を表現できるようにする ③2つのまとめから大きなまとめを導き出す ＜表現の工夫＞ ①「おわりの」の工夫 ②「おわりの」の工夫 ③「おわりの」の工夫	＜構成の工夫＞ ①おわりの「まとめ」 ②意見や主張を表現できるようにする ③2つのまとめから大きなまとめを導き出す ＜表現の工夫＞ ①「おわりの」の工夫 ②「おわりの」の工夫 ③「おわりの」の工夫	＜構成の工夫＞ ①おわりの「まとめ」 ②意見や主張を表現できるようにする ③2つのまとめから大きなまとめを導き出す ＜表現の工夫＞ ①「おわりの」の工夫 ②「おわりの」の工夫 ③「おわりの」の工夫	＜構成の工夫＞ ①おわりの「まとめ」 ②意見や主張を表現できるようにする ③2つのまとめから大きなまとめを導き出す ＜表現の工夫＞ ①「おわりの」の工夫 ②「おわりの」の工夫 ③「おわりの」の工夫	＜構成の工夫＞ ①おわりの「まとめ」 ②意見や主張を表現できるようにする ③2つのまとめから大きなまとめを導き出す ＜表現の工夫＞ ①「おわりの」の工夫 ②「おわりの」の工夫 ③「おわりの」の工夫	＜構成の工夫＞ ①おわりの「まとめ」 ②意見や主張を表現できるようにする ③2つのまとめから大きなまとめを導き出す ＜表現の工夫＞ ①「おわりの」の工夫 ②「おわりの」の工夫 ③「おわりの」の工夫	＜構成の工夫＞ ①おわりの「まとめ」 ②意見や主張を表現できるようにする ③2つのまとめから大きなまとめを導き出す ＜表現の工夫＞ ①「おわりの」の工夫 ②「おわりの」の工夫 ③「おわりの」の工夫	＜構成の工夫＞ ①おわりの「まとめ」 ②意見や主張を表現できるようにする ③2つのまとめから大きなまとめを導き出す ＜表現の工夫＞ ①「おわりの」の工夫 ②「おわりの」の工夫 ③「おわりの」の工夫
社会	世界の土地の特色 国土地の特色 国土地の特色	国土地の特色 国土地の特色 国土地の特色	国土地の特色 国土地の特色 国土地の特色	国土地の特色 国土地の特色 国土地の特色	国土地の特色 国土地の特色 国土地の特色	国土地の特色 国土地の特色 国土地の特色	国土地の特色 国土地の特色 国土地の特色	国土地の特色 国土地の特色 国土地の特色	国土地の特色 国土地の特色 国土地の特色	国土地の特色 国土地の特色 国土地の特色	国土地の特色 国土地の特色 国土地の特色	国土地の特色 国土地の特色 国土地の特色
総合的な学習の時間	志木市の自然を守りたい① ～新河川探検隊～ ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの	志木市の自然を守りたい② ～新河川探検隊～ ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの	志木市の自然を守りたい③ ～新河川探検隊～ ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの	志木市の自然を守りたい④ ～新河川探検隊～ ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの	志木市の自然を守りたい⑤ ～新河川探検隊～ ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの	志木市の自然を守りたい⑥ ～新河川探検隊～ ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの	志木市の自然を守りたい⑦ ～新河川探検隊～ ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの	志木市の自然を守りたい⑧ ～新河川探検隊～ ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの	志木市の自然を守りたい⑨ ～新河川探検隊～ ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの	志木市の自然を守りたい⑩ ～新河川探検隊～ ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの	志木市の自然を守りたい⑪ ～新河川探検隊～ ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの	志木市の自然を守りたい⑫ ～新河川探検隊～ ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの ○新河川には、どんな自然が見られるの
理科	雨などによる天候の変化 植物の成長や変化 メダカの誕生	雨などによる天候の変化 植物の成長や変化 メダカの誕生	雨などによる天候の変化 植物の成長や変化 メダカの誕生	雨などによる天候の変化 植物の成長や変化 メダカの誕生	雨などによる天候の変化 植物の成長や変化 メダカの誕生	雨などによる天候の変化 植物の成長や変化 メダカの誕生	雨などによる天候の変化 植物の成長や変化 メダカの誕生	雨などによる天候の変化 植物の成長や変化 メダカの誕生	雨などによる天候の変化 植物の成長や変化 メダカの誕生	雨などによる天候の変化 植物の成長や変化 メダカの誕生	雨などによる天候の変化 植物の成長や変化 メダカの誕生	雨などによる天候の変化 植物の成長や変化 メダカの誕生
言語能力との関連	問題を発見し、予言や想像、観察、実験などの方法について考えたり説明したりする学習活動、観察、実験の結果を整理し、考察する学習活動など											
言語能力と道徳教育との関連	自然を守る力「ひとふみふみ」 自然を大切にしようとする心構え 自然を守っている人の努力											

令和4年度 宗四小「学びの地図」6年

-18-

(3) 研究に関わる「学校だより」



宗四小だより

7月号

志木市立宗岡第四小学校
志木市上宗岡1-1-2
048-473-5250
<http://www.mune4syo.ed.jp/>
児童数575名 令和3年6月25日発行

『目指す学校像』『笑顔・感動いっぱい 虹色に輝く みんなの学校』

「学力向上」～思考力・判断力・表現力等の育成を目指して～ 校長 高柳 政行

本校では、志木市教育委員会より、令和2・3・4年度「すべての児童が自分の思いを豊かに表現できる授業づくり～国語科の指導を通して～」に関する研究委嘱を受けています。その際、共栄大学の光野公司郎先生から指導を受け研究を進めています。ここでは、1つの事例を通して、思考力・判断力・表現力等に関わる学力向上についてお話しします。

例えば、右下に示しました「ぼくのおとうさん」という作文を基盤となる論理的な表現の型として位置づけます。表現の型は【はじめ】【なか】【まとめ】【むすび】の四構成です。お父さんについて表現する場合、自分なりのお父さんに対する意見や主張を伝えることが目的となります。この「意見や主張」を表現するところが【むすび】となります。しかし、「おとうさんのようになりたい」と「意見や主張」だけ表現しても思いは伝わりません。どうしてそう考えるのかという根拠がないからです。この根拠が【まとめ】となります。「働き者で立派な大人だからぼくも将来はお父さんのようになりたい」ということです。しかし【まとめ】で示した「働き者」というだけでは説得力がありません。それは単なる思いであり証拠とはならないからです。そこで、どうしてそう思うのかという証拠を示す必要があります。その場所が【なか】です。「夜遅くから」「朝早くから」「夜遅くまで」働いているから「働き者」と判断できるということです。【はじめ】は表現する対象、つまり「何について表現するのか」ということについて示すところになります。この型の表現を使って自分の思いを表現することは小学校1年生から可能です。しかし、教育という観点で見ると各学年で重点的に指導すべきところが明確になっています。そのことは、「学習指導要領」に明示されています。

中学年では【「なか」と「まとめ」の部分の要素間の関係性（帰納的）】を重点的に指導することになります。「学習指導要領」の中学年の指導事項では「段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述をもとに捉える」とあります。ですから、【まとめ】「毎日、毎日よく働きます」という考えを述べるためには、【なか】で「①夜おそくまではたります。」「②朝早くから働きます。」のように具体的事実を位置づける必要があるということを指導していくことになります。

高学年になると、【まとめ・むすびの部分の要素間の関係性（演繹的）】を意識的に表現できるようになってきます。「学習指導要領」に示された指導事項は「事実と感想、意見などとの關係について叙述を基に、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること」です。【むすび】の「ぼくは、お父さんのようになりたいです」は「意見」となります。その根拠となる【まとめ】の「毎日、毎日よく働きます」は「感想」と言えるでしょう。この抽象的な関係性が意識できるようになるのが高学年なのです。

では、低学年の中心となる学習は何でしょうか。それは【なか】をどのように並べれば説得力があるのかを考えることです。「学習指導要領」の指導事項には「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること」とあります。「ぼくのお父さん」の場合は「①夜おそくまではたります。」「②朝早くから働きます。」と時間的な順序で配列されていることになります。

国語科でこのような学びをしっかり行い、国語科で学んだことを他教科で活用していくことが思いを豊かに表現していくことにつながると考えています。研究では、学校全体として、国語科で学んだことを特に、生活科や総合的な学習の時間に活用することを意識して取り組んでいます。また、国語科はもちろん他教科等においても音読を重視し、スラスラと速く読める力を育成していきます。将来、黙読できる力につなげていきます。

このように多様な言語活動の取組を通して学校教育短期目標（左下の表）に掲げた3つの資質・能力の一つ「思考力・判断力・表現力等」に関わる学力の向上を目指し「考える子ども」を育成していきます。また、その学びを、協働的に行うことにも取り組んでいます。その力は、「思いやりのある子ども」の育成にもつながっていきます。

学校教育目標	考える子ども	思いやりのある子ども
3つの資質・能力の育成		
未知の状況にも対応できる 思考力・表現力・判断力等の育成	自分の考えを豊かに表現したり、学んだことを応用し、よりよく課題を解決することや、新しい課題に取り組んだりすることができる子	多様な考えを認め合ったり、他者と協力し合ったりしながらよりよい言葉がけや行動することができる子

＜小学校学習指導要領との関連＞

むすび	まとめ	なか	はじめ	四構成
ぼくはお父さんのようになりたい	くお父さんはよくはたら	②く①夜おそくまではたらく朝早くからはたらく	トラックのうんでん手	各要素の要約



「国語科を中心に思考力・判断力・表現力等の育成を目指して」

校長 高柳 政行

本校では、志木市教育委員会より、令和2・3・4年度、研修主題「すべての児童が自分の思いを豊かに表現できる授業づくり～国語科の指導を通して～」に関する研究委嘱を受け、共栄大学の光野公司朗先生の指導を受けながら研修を積み重ねてきています。

今年度の11月25日（金）には、これまでの研究成果を発表する研究発表会を開催します。多くの教育関係者に来校いただき、子ども達の豊かな思考力・判断力・表現力等が育成された姿をお見せできたらと考えています（1年・3年・5年は国語科の授業公開、2年は生活科、4年・6年は総合的な学習の時間の授業公開を予定）。

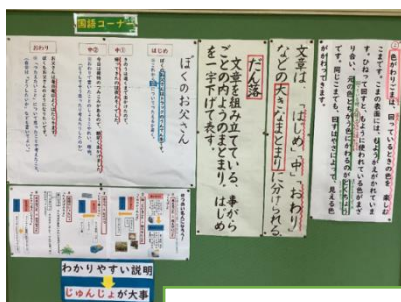
昨年の7月号でも紹介（ホームページにある令和3年7月号の学校だよりを参照）させていただきましたが、「ぼくのおとうさん」という説明文教材を学校全体（1年生は、2年生になったら扱います）で扱う共通教材（説明文を学ぶ上で基本となる言語活動）とし、論理的な思考の枠組みの構成を学年毎、系統的に学んでいます。その流れがわかるように掲示物も工夫しています。

このような言語活動の学びを学年毎に国語科の説明文でしっかり押さえていきます。そして、国語科で学んだことをさらに、他教科で活用していくことが研究主題の「児童が思いを豊かに表現（思考力・判断力・表現力等）」できる力につながっていくと考えています。

他教科では、特に、地域との関連を重視した生活科や総合的な学習の時間で活用・発揮できる授業を計画・実行・改善等に取り組んでいます。このことをカリキュラム・マネジメントといいます。このような学びが世界基準の新学習指導要領で求められている3つの資質・能力の育成につながり、子ども達の学力向上にもつながっていくものと考えています。実際、効果も出てきています。

ですから、今年度はさらに、研究を深めていこうと授業研究を推進しています。

保護者の皆様には、今後の授業参観や懇談会等の折に、その一端に触れていただければ幸いです。



6月の取り組み

「ぼくのお父さん」その他の教材・教室掲示の工夫



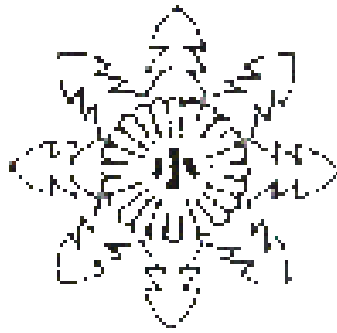
2年生の授業研究



4年生の授業研究



6年生の授業研究



宗岡第壹学校校歌

作詩 松本 旭
作曲 折山俊也

一 たんぽぽの ゆれて 明るい
学び舎に

天までとどく 声がわく

おのれかがやく 声みちる
瞳いきいき ああ、宗岡の

喜びになう われらわれら

二 富士の山 ま白く晴れて

今日もまた

心たかまる 本ひらく

人とふれあう 本を読む

知恵はあふれて ああ、埼玉の

誇りをになう われらわれら

三 新河岸の 川辺の 鷺が

光るとき

縄跳び大きな 弧をえがく

夢いっぱい 弧をえがく

力あわせて ああ、日本の

未来をになう われらわれら